



体験型観光「マリン・ツーリズム山田」の活動の様子（消費者との交流で、水産業の発展と地域の活性化が期待されます）



佐藤照彦議員

町長施政方針

山田地区1漁協の実現

本年3月の合併は困難

質問 施政方針を問う。

- ① 山田地区一漁協実現の進捗状況と今後の展望は。
- ② 本町における畜産の将来展望は。
- ③ 体験型観光の推進と宿泊施設の現状と将来展望は。

沼崎町長

- ① 合併協議会を五回、専門委員会を十二回開催し、新漁協の事業計画、欠損金の解消策について協議してきた。本年三月末の合併は困難である。引き続き、協議を進める。
- ② 本町の肉用牛は、黒毛和種肥育をはじめ順調に生産額は推移している。懸念されるのは、米国産牛肉の輸入再開で市場の動向がどう変化するかである。今後も関係機関と連携を図り支援に努める。
- ③ マリン・ツーリズム山田

では、養殖漁業体験、海岸美探勝、オランダ島散策など二百人余の利用客を受け入れてきた。漁業会員を増やし、受け入れ体制の充実を図る。

本町の宿泊施設は、民宿八施設、旅館五施設、温泉・鉱泉四施設で、宿泊定員合計は五百六十七人。旅館一施設の撤退があり残念な状況である。

町の考えを聞く



中高連携教育により山田高校への入学者が増えることが期待されます（本年度の入学者数は73人です）

中高連携

山田の教育に与える影響

山高への入学者が増えることを期待

質問

中高連携教育を推進することによる山田の教育に与える影響についてどのようなことを期待しているか。

松尾教育長 中学校の生徒には、高校教育、高校への見通しや興味関心を育む

ことができる。高校の生徒には、教科学習やクラブ活動、ボランティア活動など、後輩との交流が増え、後輩から常に見られている状態になることから先輩としてさらに頑張ろうとする気持ちで育つと考えている。

中学校の教師には、高校の教師から教科の専門性を学ぶことができる。高校の教師は、中学校の教師からどの子もよく分かる授業展開の仕方などを学ぶことができると考えている。

保護者や町民に与える影響は、高校や中学校の取り組みや様子がよく分かるようになり、町民みんなで、高校、中学校を支えようとする機運が高まり、山田高校への入学者数も増え、すばらしい高校として発展することを期待している。